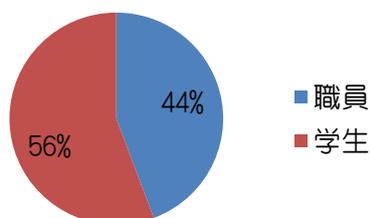


防災意識調査アンケート結果発表 速報

2011年12月7日 防災訓練にて実施したアンケートを集計した結果を発表します。
12月23日に開催したクリスマス会の時に出た意見も、紹介しています。

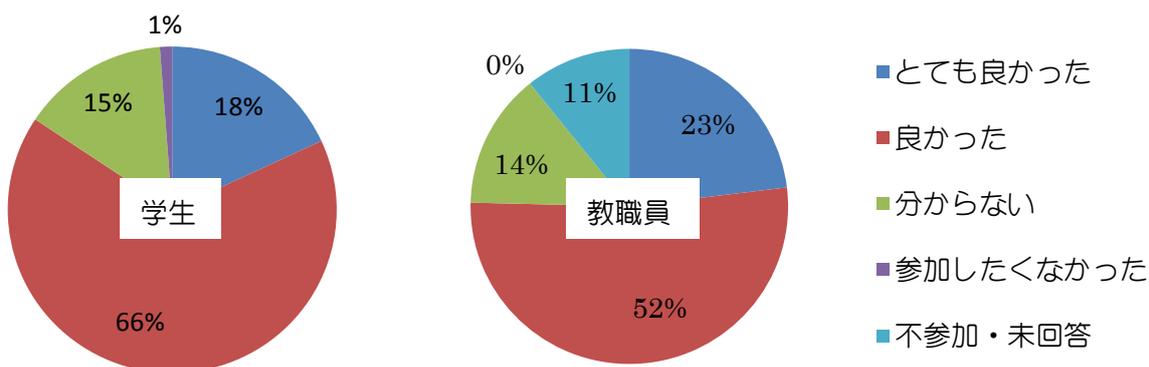
■アンケートに答えてくれた人は、合計149名。半分以上が、学生でした。

職員	66
学生	83



■Q2 今回の避難訓練に参加して良かったと思いますか？
ほとんどの人が、参加して良かったと言っています。

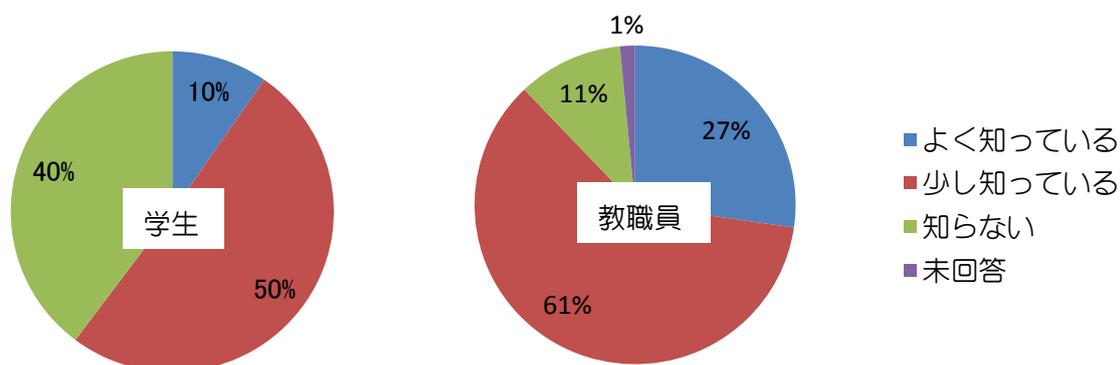
Q2



■Q4 学内の防災体制について、知っていますか？

この設問では、「防災体制」という言葉の曖昧さがあるという指摘をいただきました。
確かに、組織上の決まりから避難場所まで、様々なことを指す言葉ですね。
答える人の捉え方の違いによる影響が出てしまいました。

Q4

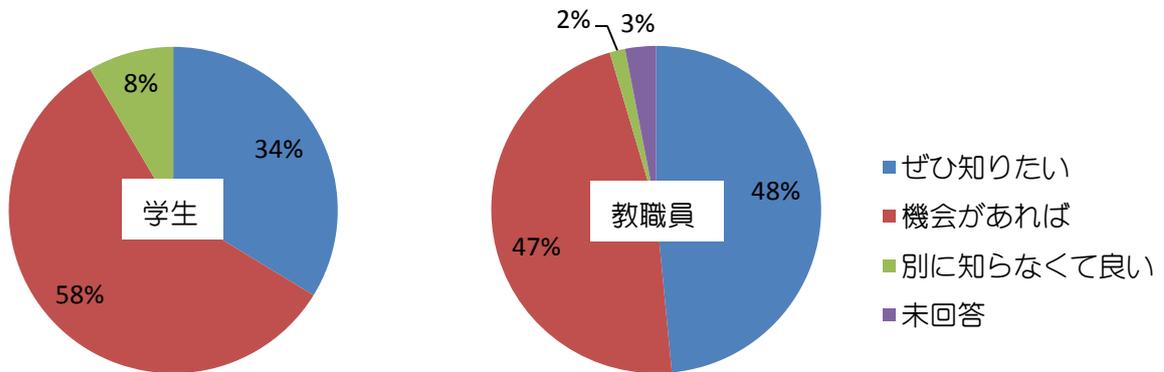


■Q5 学内の防災体制について、もっと知りたいと思いますか？

「防災体制」について知りたいという人がほとんどでした。

機会があれば知りたい、という言葉のように、知る機会をもっと身近に作っていきたいですね。

Q5

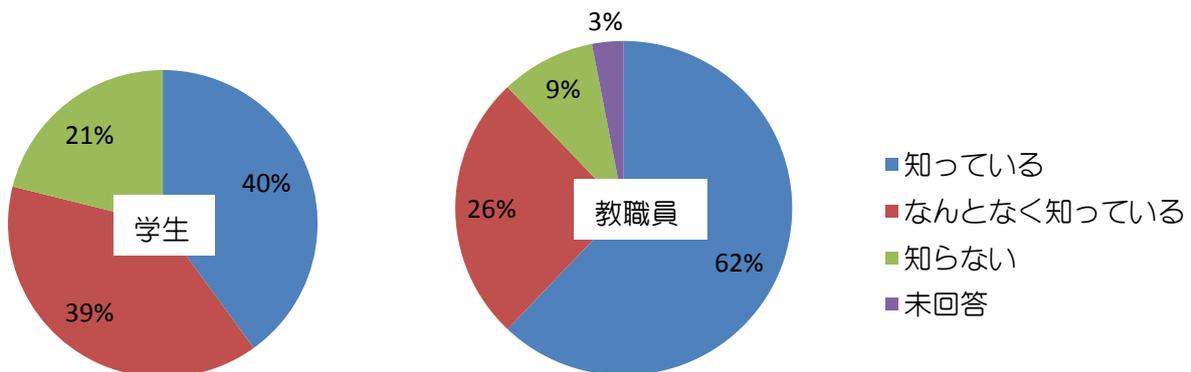


■Q6 学内で地震が起こった場合、どこに避難すれば良いか知っていますか。

「なんとなく知っている」という人は、周知の場所ではなく、自分の中で「あそこに行けば大丈夫だろう」と思っているだけの人も多いのではないかと思います。

正確な情報に即した安全な場所を、実際にキャンパスで生活している皆さんが知っている必要があります。

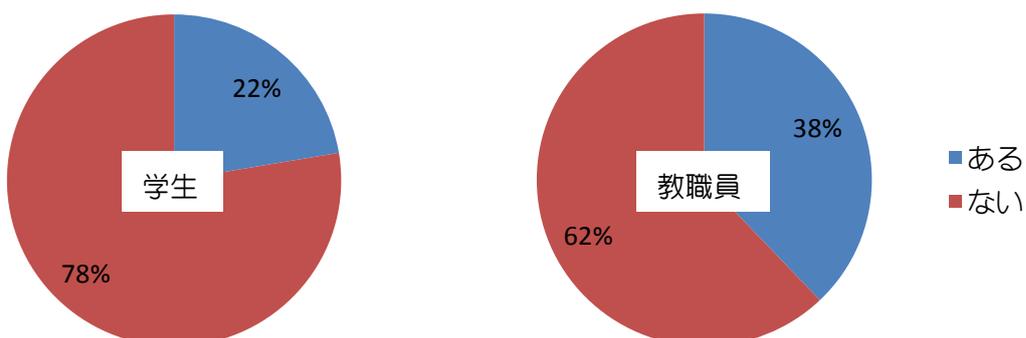
Q6



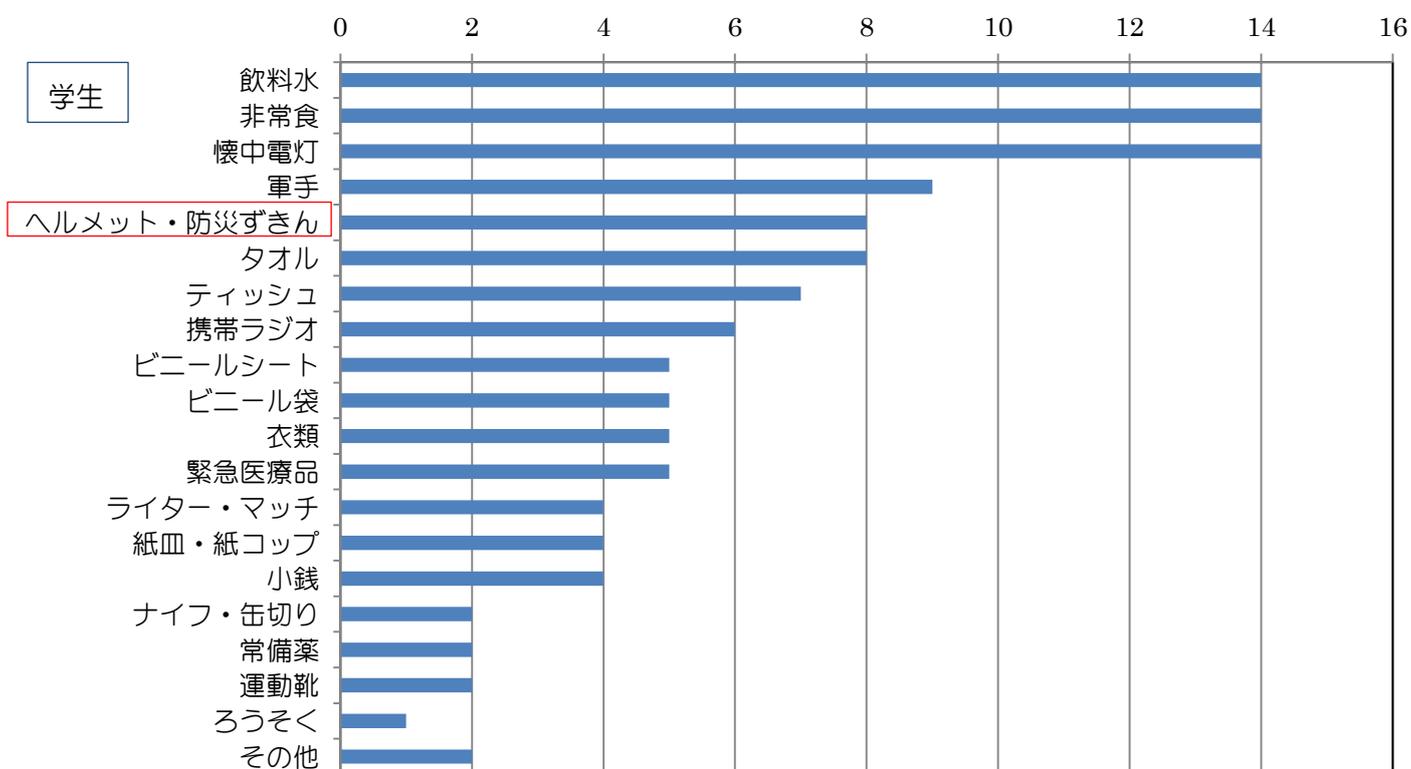
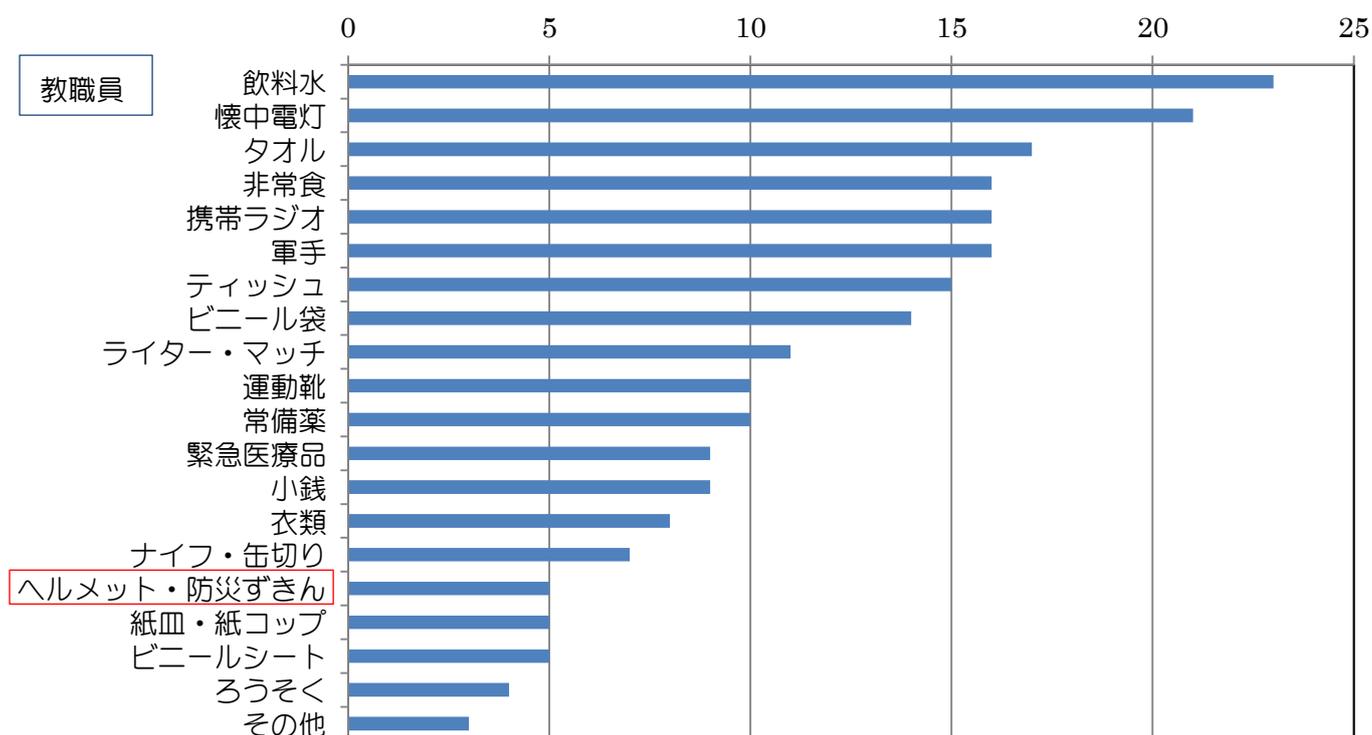
■Q7 非常持ち出し品はまとめてありますか？

これは、学生と教職員で少し差が見られましたが、まとめている人はかなり少ないという現状です。ほとんどの人は、何を用意しておけば良いのかわからないのではないかと思います。

Q7



「ある」と答えた人に、用意しているものにチェックを入れてもらいました。
みなさん、食料品の準備は意識しているようです。

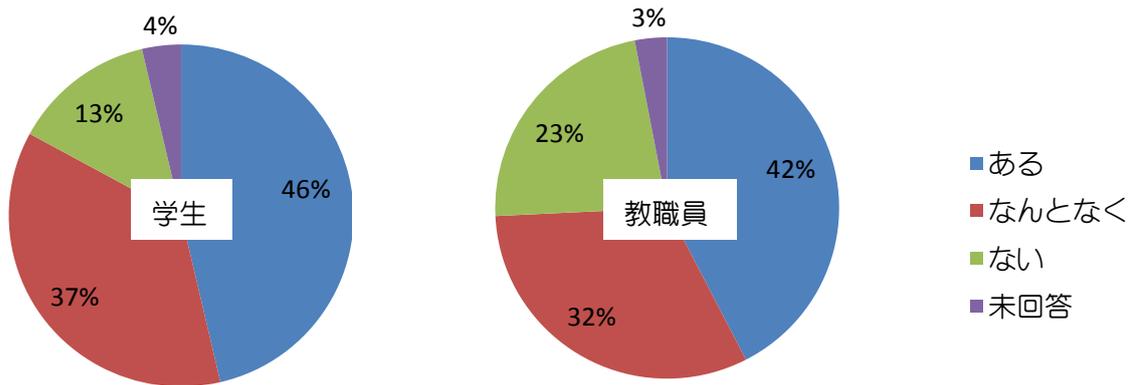


その他：

防塵メガネ、マスク、バール、ロープ、金づち、ジャッキ、ふえ、ライト、サランラップ、手動発電機、簡易トイレ、下着

■Q9 家で地震に遭った場合、一時避難所は決めてありますか。

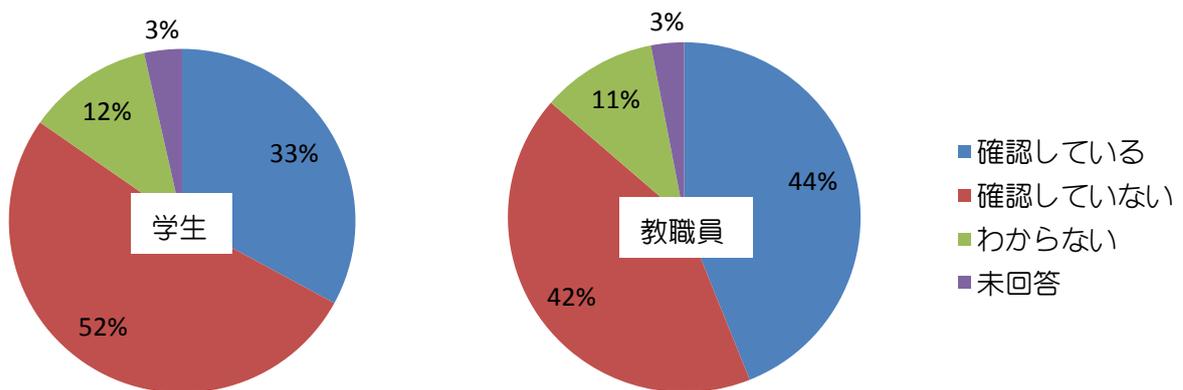
Q9



■Q10 家の周辺の危険箇所を、確認していますか。

Q9で一時避難場所を決めている人が多い一方、危険箇所を確認している人はあまりいません。実際避難する時に、どこを通ったら良いか、どの道が通れなくなる可能性があるのか、を理解しておくことは重要です。

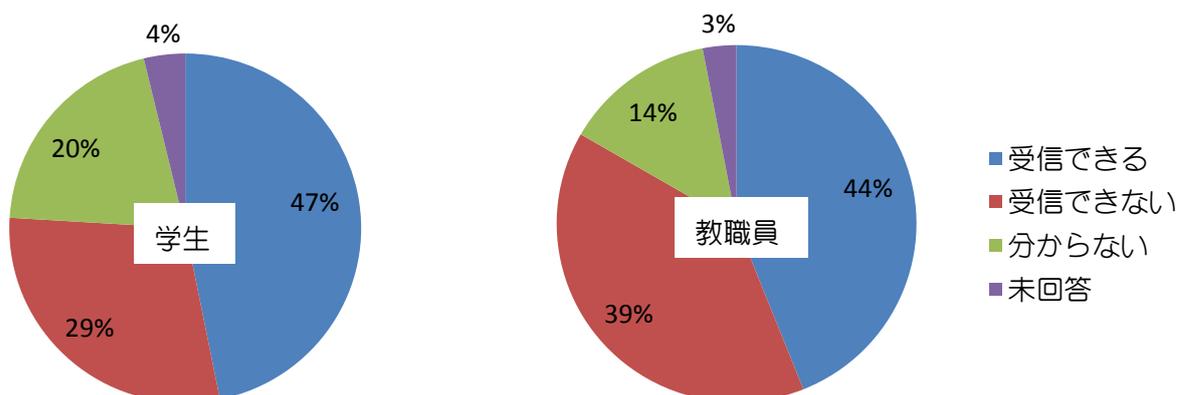
Q10



■Q11 緊急地震速報について、受信できる状況になっていますか。

携帯電話によっては、すでに受信するよう設定されているものもあるようです。常に身に付けている携帯電話は、情報を得るのに最適なツールです。速報の受信状況を確認し、受信したときの対応を考えてみてください。

Q11



■Q12 緊急伝言ダイヤル「171」の使い方を知っていますか。

聞いたことはあっても、使い方を認識している人はあまりいませんでした。

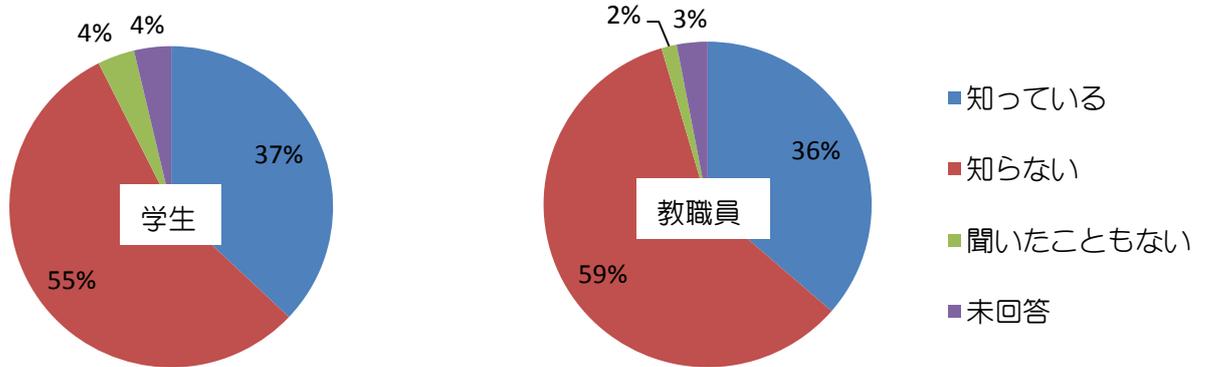
実際は171にかけると、音声ガイドが案内してくれます。

しかし、災害により電話が繋がらずパニックになったとき、とっさに「171」を思いつくでしょうか。

「171」はNTTのサービスですが、KDDIやソフトバンクの災害用伝言板との違いはなんでしょうか。

緊急用だからこそ、常時にしっかりと知識を持っていることが大切です。

Q12



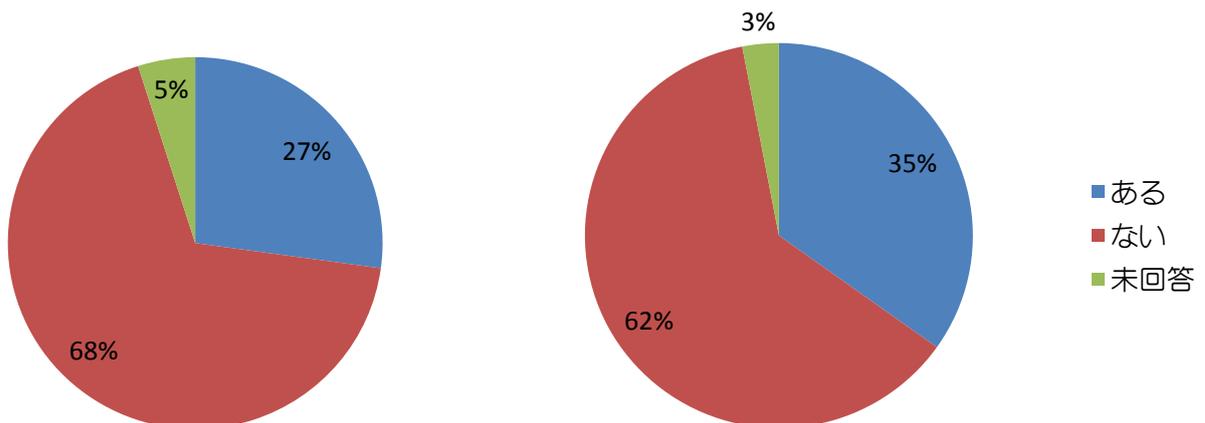
■Q13 家族間で、集合場所や伝言方法は確認してありますか。

ほとんどの人が確認をしていませんでした。

連絡が取れなくなるほど、心配になるものです。

まず自分を守り、その一人ひとりが家族を、仲間を守る人になりましょう。

Q13



■Q14 防災について、何かご自身で意識して行なっていることやご意見を自由にお書きください。

学生より

○防災意識について

- ・家では頭上に重い物を置かないようにしている。
- ・常日頃から意識している。
- ・自助、防助、共助。
- ・寝ているとき家具の下敷きにならないようにする。ハザードマップを確認している。
- ・最近大学が率先して防災に関して職員、学生に指導していることは良いことだと思います。

○今回の訓練について

- ・今回は何の為の訓練ですか？東北実例でも、実際には学内移動でさえ困難でしょう。実態的な訓練が大事です。
- ・訓練の体制が整っていなかったと思う。
- ・点呼の必要があったのか疑問に感じた。
- ・訓練の前日にでもメールをして欲しかった。
- ・今回、避難所に行くだけだったのが残念。あちらで何か救急の人とかに教えてもらえると思っていました。

教職員より

○防災意識について

- ・家具の転倒防止
- ・引っ越しをしたばかりで災害への備えがかなり甘いので今回を機に準備しておこうと思います。
- ・整理整頓、どこに何があるのか把握
- ・大学から山の方へにげるようにする
- ・ヘルメット、乾電池を準備しようと思います。
- ・携帯ラジオや簡易充電器(携帯の)、ペンライトや電池等を持ち歩いている。
- ・東日本大震災の後、家族に「もし万一、東海地震来たらお前が一番落ちつけ、まず身を守れ。固定電話やったら動くで冷静に状況確認してから避難所に(家の場合は多気中)来い」と言われるようになったので、それを常日頃意識している。
- ・防災みえに登録し、情報入手を行っている
- ・DMATからの情報入手を行っている。
- ・備蓄品について 特に女子学生を意識してほしい。着替え場所、下着、生理用品
- ・家で非常持出袋を備えている。

○今回の訓練について

- ・実際の避難時には、大勢の学生で今回のルートを移動しなければなりませんが、本当に大丈夫か少し不安です。授業も休講にし、本格的に実施すればよかったのではないかと思います。
- ・形だけではなく、実際どのようなことが想定できるか、もっと工夫してからの訓練が必要と思う。

■
今回の防災訓練について、一番多く聞いたことは「知らなかった」でした。

教員から直接参加要請を受けて参加した学生がほとんどであったと思います。

アンケートの意見の欄にも、訓練に対する連絡不足や、内容に対する不満が見受けられました。

私自身、大学で生活する人のためというより、本部の体制や医療関係者の方々のための訓練であったような印象を受けました。

しかし、大学は、小学校中学校とは規模もシステムも違います。

単位が必要とされる講義の状況によって、学生全員を避難させることが難しい現状もあると思います。

本部と、教職員の方々と、学生とが、情報を共有し、密に繋がっていく必要性を強く感じました。

今後の避難訓練の在り方への、課題が見えた気がします。

今年度から、年2回の訓練が行われるようになりました。

今後、より多くの人に参加でき、より多くの意見を反映していけるような訓練となれば良いなと思っております。

建築学専攻 花里紗知穂